

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120324

地域看護方法論Ⅱ Community Health Nursing Ⅱ

| | | | | | |
|---------------|--|-----|----|------|-------|
| 担当教員 | 阿部 智恵子 塚田 久恵 織田 初江 曾根 志穂 金子 紀子 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 開講年次 | 3年次後期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義・演習 |
| 必修・選択 | 必修 | 時間数 | 45 | | |
| Keywords | 対象別地域看護活動、成人保健指導、高齢者保健指導、精神保健指導、障害者（児）保健指導、学校保健活動、産業保健活動、難病保健指導、 | | | | |
| 学習目的・目標 | 【目的】 地域で生活する個人や家族、住民集団に対して、そのヘルスニーズに応じた地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。【目標】 ライフサイクルと健康問題ごとに、行政サービスとしての看護援助提供方法を理解する。 ●成人・高齢者保健福祉、精神保健福祉における地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。 ●学校保健の概要、養護教諭の職務内容について理解する。●産業の場で働く労働者の生活・労働環境と健康問題と、働く人々の健康の保持・増進を支援する産業看護職の役割と機能について理解する。 ●難病対策における看護職の役割・機能を学習する。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | | | | |
| 1-2 | オリエンテーション 高齢者保健福祉対策と高齢者の保健活動・保健指導 ・高齢者の生活と保健指導（演習）・臨地演習の説明 | | | | |
| 3-5 | 高齢者単身世帯等への訪問・振り返り・レポート作成 | | | | |
| 6-8 | 成人保健福祉対策と成人期の保健活動・保健指導 ・成人保健活動に関わる援助技術（演習） ・特定健診、特定保健指導の演習 | | | | |
| 9-11 | 障害者保健福祉対策と障害者の生活上の障害と保健指導 精神障害者保健指導に関わる援助技術・コミュニケーション技術 難病患者の生活と保健指導 | | | | |
| 12-15 | 学校保健の概要、養護教諭の職務内容他（講義・演習） | | | | |
| 16-19 | 産業保健の場における看護職の役割と機能、保健指導他（講義・演習） | | | | |
| 20-22 | グループワーク、まとめ | | | | |
| 23 | 試験 | | | | |
| 教科書 | 松田正己著者代表：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動。医学書院 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論。医学書院 標準保健師講座2 公衆衛生看護学技術。医学書院 国民衛生の動向（厚生統計協会）「養護教諭の執務のてびき」 | | | | |
| 参考図書等 | 宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 総論」（日本看護協会出版会）宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 各論1」（日本看護協会出版会）宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 各論2」（日本看護協会出版会）公衆衛生マニュアル（南山堂）保健師業務要覧（日本看護協会出版会） | | | | |
| 評価指標 | ●定期試験の受験資格：履修登録をしている＋授業回数の2/3以上出席している ●定期試験の結果100%で評価する。 | | | | |
| 関連科目 | 地域看護学概論、地域ケアシステム論、地域看護診断・援助論、 地域看護方法論Ⅰ、地域看護学実習、公衆衛生学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、精神看護学の各科目 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | 地域看護方法論Ⅱを学ぶにあたっては、地域看護概論、地域看護診断・援助論、地域看護方法論Ⅰを振り返り、さらに広い視野、柔軟な発想を持って学習に臨んでいただきたいと思います。 | | | | |